

西大和つうしん

2015年 12月号

No.402



2015年10月31日大峰奥駈Ⅲ

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第402号(2015年12月号)

【目次】

12月度山行計画.....	1
12月度・1月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
山行報告	
・自主山行 《10月22~23日》 台高の山 大杉谷(野路・藤井).....	5
・交流山行 《10月25日》 大峰の山 大普賢岳(玉越).....	6
・自主山行 《10/30~11/1》 大峰の山 大峰奥駈Ⅲ(橋本・辻).....	7
・自主山行 《11月11日》 鈴鹿の山 藤原岳(橋本).....	9
・例会山行 《11月15日》 紀泉の山 犬鳴山《高城山》(野路).....	10
・自主山行 《11月22日》 大峰の山 大普賢岳~七曜岳(的場)....	11
運営委員会だより(10/28).....	12
室内例会だより(10/28).....	13

12月度例会山行計画

~山上ヶ岳から弥山・八経、果ては釈迦ヶ岳まで、大峰主峰の大パノラマ
を楽しむ稜線コース~

例会山行 1

◆2015年11月29日(日) ◆大峰前衛の山：滝山(1,140.5m)~
天和山(1,284.8m)
〔L：藤本/緊連： 〕

【集合場所】上牧町役場前駐車場 AM6:30

【コース】高野辻(9:00出発)~滝山~天和山~滝山~高野辻(15:30着)

~山岳霊場の名山として栄えた山へ皆さんと共に展望を楽しみましょう~

例会山行 1

◆12月6日(日) ◆北摂の山《剣尾山》
〔L：杉村/緊連： 〕

【集合場所】上牧役場駐車場 AM7時00分

【コース】登山口~0:15~行者堂(行場コース) 0:50~行者山~1:00~
登山口~0:15~行者堂(行場コース) 0:50~行者山 ~1:00~
剣尾山~0:30~横尾山~1:15~頂上広場~0:15~能勢の郷
【帰宅予定】上牧P 18:00

～山全体がホウ貝に似た形をしているか確認に行きましょう～

例会山行2

◆12月13日(日)◆伊賀伊勢：大洞山(1,013m)・尼ヶ岳(957.7m)

〔L：島崎/緊連： 〕

【集合場所】上牧役場駐車場 AM6時30分

【コース】 倉骨峠(30)～三の峰～四の峰～大洞山(雄岳)(15)～大洞山(雌岳)
(25)～東海自然歩道(25)～展望所(30)～倉骨峠(13)～オオタワ
(35)～尼ヶ岳(30)～オオタワ(13)～倉骨峠

【帰宅予定】上牧P 18:00

西大和山の会 カレンダー

12 月		1 月	
1	火	1	金
2	水	2	土
3	木	3	日
4	金	4	月
5	土	5	火
6	日	6	水
	◆例会山行1 剣尾山(杉村)	7	木
7	月	8	金
8	火	9	土
9	水	10	日
10	木	11	月
11	金		◆例会山行1 須磨アルプス(島崎)
12	土	12	火
13	日	13	水
	◆例会山行2 大洞山・尼ヶ岳(島崎)	14	木
14	月	15	金
15	火	16	土
16	水		『西大和つうしん』1月号原稿締切
17	木	17	日
18	金		◆例会山行1 三峰山(玉越)
19	土	18	月
20	日	19	火
			県連救助隊総会
21	月	20	水
22	火		『西大和つうしん』2月号原稿締切
23	水	21	木
	運営委員会・室内例会・忘年会	22	金
24	木	23	土
25	金	24	日
26	土		◆例会山行1 綿向山(亀高)
27	日	25	月
		26	火
28	月	27	水
29	火		室内例会(PM7:30~)
30	水	28	木
31	木	29	金
		30	土
		31	日

山行・行事等参加メモ

入会順		11/25 室内例会	11/29 滝山 天和 山	12/6 剌尾 山	12/13 尼ヶ岳 大洞山	12/9 経ヶ峰	12/23 忘年会	
1	(窪田)							
2	都築							
3	藤井	○	○	○	○		○	
4	(石田)							
5	多賀	○			緊急			
6	田中悦	○	○	○	○		○	
7	島崎	○	○	緊急	○	○	○	
8	田中初	○		○	○		○	
9	村田	○		○	○	○	○	
10	林	○	○		○		○	
11	辻	○	緊急	○	○	緊急	○	
12	勝尾						○	
13	藤本	○	○		△		○	
14	杉村	○		○	○		○	
15	高橋	○		○			○	
16	玉越	○		○	○			
17	的場	○			○		○	
18	杉川	○	○		△		○	
19	阪口	○	○	○	○	○	○	
20	橋本	○	○		○			
21	今井	○	○			○	○	
22	亀高	○	○				○	
23	松浪							
24	亀井	○					○	
25	船江	○	○	○	○			
26	野路		○			○		
27	竹川							
28	森川			○			○	
29	中	○		○				
	合計		12			5		

自主山行 大杉谷～大台ヶ原 《日出ヶ岳 1,695.1m》

【日 程】10月22日(木)～23日(金) 2日間 晴

【参加者】L 島崎・藤井・野路 (計3名)

【コースタイム】22 日大杉峡谷登山口《宮川第3発電所》(12:00)～千尋滝前休憩所(13:35)～猪ヶ淵(14:20)～桃の木小屋(15:35) 歩行時間 約3時間35分(休憩含)

初めて、変更、キャンセルなしの泊り山行と、10数年ぶりに「近畿の黒部」と言われるほど、深い渓谷の大杉谷、と言う事で嬉しくて心はずんでいた。

近鉄とJRを乗り継ぎ、三瀬谷駅からマイクロバスに乗り換え大杉谷へ。リーダーが申し込みをされた時は私たち3名のみで、「最低4名集まらなければバスは出ない」と言われたとの事でしたが、平日にもかかわらず、10数名の方がいました。

大杉峡谷登山口から歩き始めて間もなく鎖場になる。鎖場が過ぎると登り、少し登ると下り、又鎖場、登り・・・の連続。桃の木小屋までは標高差わずか220m。1時間30分程で千尋滝が現れる。大杉谷最大の滝。落差135m。頭上から吹き出すような勢いで流れていた。相変わらず鎖場は続く。各所に「転落事故多発・・・」の立て札が目につく。断崖が兩岸にせまり、紺碧の水の色。猪ヶ淵に着いた。

断崖の間からは、午後のやさしい光がさしこみ、神秘的な光景であった。静寂な一時。「これが大杉渓谷なのだ!!」と思う。感無量!! しばし休憩の後、少し色付き始めた木々、中の白い石まで見える澄んだ青い水。紺碧の渓谷を眺めながら歩く。

ニコニコ滝が見えた。千尋滝が男性的ならば、ニコニコ滝は優しい感じのする女性的な滝。繊細に流れる滝は白い絹糸が落ちるように見え、とても美しかった。

やがて平等岩吊橋の所に出た。目前の平等岩の大岩壁に圧倒される。6つ目の吊橋を渡ると桃の木小屋があった。歩行時間約3時間。地図を見ると4時間50分となっている。私たちが早く着けたのは、晴天に恵まれ、足元が乾いていたからだ

と思う。雨の日は滑るため、慎重な歩行になり、地図通りの時間を要するのではと思った。

(記：野路)



23日(金) 晴れのち曇り
【コースタイム】桃の木小屋(6:05)～七ッ釜の滝(6:30)～光滝(7:20)～与八郎の滝(7:46)～堂倉滝(8:08/8:20)～堂倉避難小屋(9:25/9:35)

～シャクナゲ平(10:55/11:05)～日出ヶ岳(11:45/12:55)～尾鷲辻(13:45)
～大台バスセンター (14:20)

桃の木小屋を後にしてさらに切り立った岸壁につけられた岩盤の道を進んで行く。転落注意の立札がいたる所に立っている。しっかり鎖は付けられているが、一歩足を踏み外せば谷にまっさかさま、濡れていなくて本当に良かった、はるか頭上から幾重にも曲がったセツ釜の滝が見えてくる。

光滝、そして女性的な優しい与八郎の滝、最後の堂倉の滝は落差は少ないが幅が広く豪快だった。深い谷とそそり立った岩壁、次々に現れる雄大な滝、紺碧の沢の色、この美しさはそうそう見られるものではない。25年ぶりの大杉谷だったが、改めてその素晴らしさを実感した。

ただ、もう少し紅葉していれば美しさも増したのにそれが少し残念だった、谷から離れるといきなりの急登になる。

急登を頑張って、尾根道に出ると景色は一変して穏やかな落葉の道になり、展望も開け、青空に紅葉した木々が映えて美しい。シャクナゲの群生がずっと続いていたが、殆ど花芽は付いていなかった。来年も花をつけないのだろうか、シャクナゲ平から長い長い階段道を登りきるとミヤコザサに覆われた日出ヶ岳山頂に到着。ここまで来るとガスが出てきて遠望はきかなかった。

今まで殆ど人に会わなかったのに山頂はたくさんの人で賑わっていた。ゆっくり過ぎ、まだ時間に余裕があったので正木ヶ原を回ってバスセンターまで行った。平日でも駐車場はいっぱいだったが明日からの週末には、車があふれることだろう。

帰りのバスの中からの紅葉とてもが素晴らしかった。 (記：藤井)

山行報告

県連交流山行 《大普賢岳》(1, 779.9m)

【日 程】10月25日(日) 晴れ

【参加者】L林・島崎・藤井・藤本・玉越・杉川・今井・亀高・橋本・亀井・森川

【コ-ｽﾀｲﾑD班】和佐又ヒュッテ合流(9:10)…出発(9:25)～指弾ノ窟(10:25)～日本岳の科尔(10:50)～石ノ鼻(11:05)～小普賢岳下(11:20)～大普賢岳山頂(12:00/40)～小普賢岳山頂(13:20)～指弾ノ窟(14:15)～和佐又ヒュッテ(15:00)

晴天のもと行われた県連交流山行。各会から合わせて36名が参加した。和佐又ヒュッテに着くと、冷たい風が吹きとても寒い。先週は暑かったので油断してしまった。同じ晴れでも、季節は確実に進んでいる。

4班に分かれてそれぞれ出発する。和佐又山から続くなだらかな登りを進むと、1時間ほどで指弾ノ窟・朝日窟・役行者が籠った笹ノ窟・鷲ノ窟が現れる。日本岳の科尔にまで上がると、尾根の北側は強い風が吹きいっぺんに体が冷え

る。

石ノ鼻の岩頭に立つと、眼下には錦繡をまとった山々が見える。黄緑・黄色・オレンジ・赤…色を表現する言葉が、どうしても足りない。石ノ鼻からはさらに急坂が続き、鉄梯子やクサリも増える。小普賢岳をやり過ごし、鞍部を経て奥駈道と合流し、風が吹きすさぶ尾根伝いに歩を進めれば、大普賢山頂に着く。山頂からは、台高から大峰の山々（バリゴヤ・稲村ヶ岳・大日山・山上ヶ岳・弥山・八経など）が見渡せた。

同じコースを下山する。他の会のメンバーと和気あいあいと話をしながら楽しい山歩きとなる。D班は小普賢岳



にも登った。今回は晴れていたので問題ないが、急なグレーチングの階段は雨の日だと滑るので注意が必要だろう。また雪のシーズンはかなりの技術が必要で、滑落死亡事故の危険が伴うコースだそう。どこの山からでもひとときわ目を引く「大峰の三兄弟」は、春のシャクナゲ、秋の紅葉の時期を楽しむのが最適だろう。

(記：玉越)

山行報告

自主山行 大峰奥駈道Ⅲ

《前鬼林道ゲート～太古の辻～釈迦ヶ岳～孔雀覗～楊子の宿～八経ヶ岳～弥山～行者還隧道西口》

【日 程】2015年10月30日（金）夜発～11月1日（日）

【参加者】L 藤本、SL 杉川、田中悦、辻、亀高、藤井、今井、坂口、橋本

【コースタイム】10月31日（土）前鬼林道ゲート（5：55）～小中坊（6：45）～二つ岩（8：15）～太古の辻（9：30）～釈迦ヶ岳（11：45/12：15）～孔雀の覗き（13：56）～楊枝の宿（16：00）

天気が思わしくない予報。しかし日々一刻予報が変わり何とか行けるのではと思っていますと、リーダーの判断で悪天候であったとしても比較的安全に歩行できる逆からのコースでの決行となる。前鬼林道ゲート前で前夜泊し、ここから奥駈道を目指す。

静寂な山中に立ち、長く歩き疲れた登山者を優しく迎え入れてくれそうな佇まい

の小仲坊の傍から登り始める。(前鬼、後鬼の子孫の方が1300年続く宿坊を守り続けておられると後で知りました)急登が続き又、木道の階段が多い登山道。重いザックが足の運びを鈍らせる。奇岩のニツ岩、遠くに見える五百羅漢の岩峰群が大峰の厳しい山を感じさせる。太古の辻を経て仙丈平のテント場で水を調達しようとやっと水場を探したが涸れており一滴も出ていない。本当に雨が少ない現実を感じた。釈迦ヶ岳では風が強く寒く感じたが何とか風を遮り食事休憩をとり孔雀覗～仏生ヶ岳を巻き楊子の宿へと進む。孔雀覗までは岩場、アップダウンの歩きにくい登山道。釈迦ヶ岳～孔雀ヶ岳のピークを踏んだ今年の夏山訓練「すごい」と改めて感じる。笹原、倒木の平原を歩き七面山、はるか遠くに親しみのある金剛、葛城の山並みを見ながら楊子の宿にやっと到着。

男性陣が重いテント装備を担ぎ上げてくださったが、到着が16時となり寒さ、疲れもあり全員小屋泊とし、明日の英気を養うことにした。立派なきれいな小屋の中での食事は快適で又疲れた体を十分休める事が出来たと思う。

雨の心配もなくなり、リーダーの的確な判断で実行していただき、大峰奥駈道の核心部を歩き素晴らしい大きな山の中に身を置けた事、パーティの皆様に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

(記：橋本)



【コ-スタイル】 11月1日楊子ノ宿(7:04)～舟ノ埜(8:13)～五銛嶺崩落地(9:25)～弥山辻(10:41)～八経ヶ岳(11:01/18)～弥山小屋(11:46/12:32)～弥山神社(12:35/38)～国見八方睨(12:43/58)～弥山小屋(13:01/10)～聖宝ノ宿(14:02/10)～弁天の森(14:41)～トンネル西口分岐(14:59/15:06)～行者還トンネル西口(16:06)～車デポ地(16:13)

大峰奥駈道の二日目。

小屋で同宿だった奥駈道を整備されている「やまびこグループ」の方から、これから進む縦走路の崩落個所の情報などを得て、楊子ノ宿小屋を出発。

穏やかで明るい広々とした楊子ノ森を抜け、舟ノ多和を越えて快晴に恵まれた

稜線を気持ちよく歩きます。

やがて五鉢峰の崩壊個所に差し掛かり、そこは崩壊個所を避けてザイルが設置された岩場を高巻き、慎重に難所を乗り越えます。

秋の澄み切った素晴らしい天候に恵まれ、大峰の主たる山々や南に果無山脈・東に熊野灘の海まで見渡せるほどの大パノラマに圧倒され、今まで知る事ができなかった大峰奥駆道の魅力を、全身に浴びて稜線散歩を堪能しました。

アップダウンを繰り返し、一路八経ヶ岳を目指し進みます。明星ヶ岳の巻道を過ぎて前方を見ると、遥か彼方に金剛山・葛城山・二上山の山並が見えた時は、縦走の疲れも吹っ飛び、心が和んだ一瞬でした。

弥山辻を過ぎて、目の前に目指す八経ヶ岳が近づくとつれ、テント泊装備の入ったザックの重さも忘れるほどの魅力ある大峰奥駆縦走に、名残惜しさを感じました。

ゆっくりと弥山小屋の広場でくつろぎ、奥駆道を一望できる国見八方睨ではリーダーの説明で、しばし山座同定を楽しみます。

今まで大峰の山には何度か登っていたが、それは日帰りの往復登山でしかなく、山々を部分的にしか捉えられなかったけれど、リーダーの明快な説明を受けて、北奥駆の全容が少しだけ理解でき、大峰の魅力がより一層増えました。弥山から下山口の行者還トンネル西口まで3時間の道のりを、奥駆縦走の余韻を楽しみながら、リーダーの綿密な計画と的確な判断で全員無事に、楽しく縦走できた事を感謝しながら下山。

紅葉の美しさも加わって、大峰奥駆道の魅力と醍醐味を十分に味わう事が出来た山行でした。

そして奈良県にもこんなに魅力のある山がある事を、昔の山の仲間にも自慢したいです。
(記；辻)

山行報告

自主山行 鈴鹿の山《藤原岳》

【日 程】 11月11日(水) 晴れ

【参加者】 L 島崎、野路、橋本

【コース】 佐味田駅(6:45)～駐車場出発(9:07)～聖宝寺(9:25)～8合目分岐～(11:05)～藤原岳山荘(11:55/12:35)～藤原岳山頂(12:55/13:15)～8合目分岐(14:00)～15:35(駐車場)

平日とあって西名阪国道は、トラックが多く少し混んでいた。途中乗用車が真っ逆さまになった状態で道路をふさいでいる事故にも遭遇し若干時間がかかった。

車窓から見る石灰石の採掘で変わった山様の藤原岳が痛々しく見える。駐車場では「冬桜」を愛で、静かな集落を通り聖宝寺から裏道を登る。立派な堰堤が作られ

ておりその堰堤を超えると大きく崩落した跡がある。整備され、登山道を作られた様だ。私が先頭を歩くことになったが、木の枝でバツテンしている道に進みかけた。り前ばかり見て周りを見ず登山道ではない道に入りそうになったり、何度か注意される。落ち込む私に「経験、経験」と慰めてくださるのだが…。

急登の九十九折れの登山道を登り避難小屋の藤原山荘に着く。昼食後頂上の展望台を目指す。御池岳、竜ヶ岳、はるか琵琶湖、比良山系も見ることが出来た。下山は、8合目分岐より表道を下る。裏道よりはるかに歩きやすい道で下るにはちょうどいい。どちらの登山道も何合目(1~9迄)と明記した立て看板が設置されていて、自分のいる場所がよく分かった。急登で少しガシ場もありしんどかったが、変化のある裏道から登れたのはよかったと思う。

赤く色づく木が少ないのか紅葉は少し物足りなかったが、静かな秋の山を一日堪能できた山行だった。花の季節に一度行ってみたいと思う。



(記:橋本)

山行報告

例会山行(公開山行から変更) 紀泉の山 犬鳴山《高城山》(649m)

【日 程】 11月15日(日) 小雨のち曇り

【参加者】 CL 辻・A班 L 島崎・SL 藤本・B班 L 田中(悦)・SL 杉川・

田中(初)・杉村・高橋・的場・今井・亀高・松浪・中・野路(14名+
ゲスト2名)

【J-タイム】 犬鳴山バス停(9:20)~休憩広場(9:42)~行者の滝(9:50/10:10)~登山道分岐(10:20)~高城山(11:15)~五本松(ハイランドパーク)昼食(12:20/13:00)~休憩広場(14:00)~バス停(14:36)

歩行時間 約4時間

公開山行の予定が、降水確率50%と言うことで、会員のみ山行になった。私も昨年の11月、公開山行に参加させて頂いて入会をいたしました。残念に思っている方もおられたかも・・・

小雨降る中、バス停から温泉街を通り、犬鳴川溪流沿いの道に行く。コンクリートや、川石を敷いて、歩き易いハイキングコースになっている。しかし今日は、雨で滑りやすいので慎重に足を運ぶ。

犬鳴山と言う名称の山はなく、この辺り全体の山を指して犬鳴山と呼ぶそうであ

る。信仰の山として、又修験道の霊場として知られ、一般の人々も「山行場を歩いたり、滝に打たれたり」の体験ができるそうである。

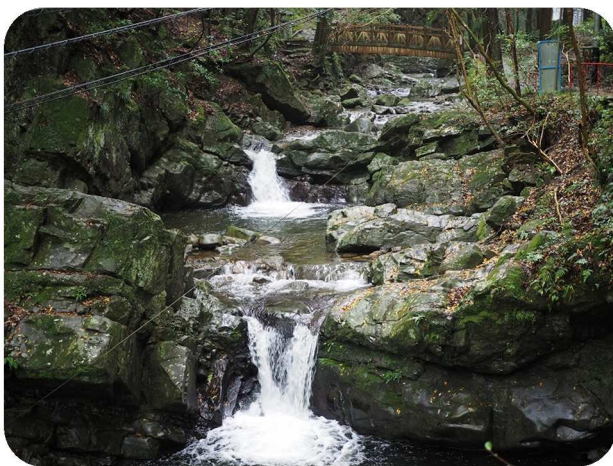
溪流沿いの道は、信仰の山らしく、神秘的な雰囲気を感じている。幾つかの滝と橋を渡り、幾つもの祠と鳥居をくぐると、七宝滝寺に着いた。七宝滝寺は無料で、土足のまま、建物の中に入れてくれる。建物の中を通り抜けると行者の滝が現れる。

滝は幾重にか折曲がって落ちてきている。長くくさがり垂れている。「修験者の滝打たれの行場」。何を思って打たれるのか・・・「行者岩くぐり」や「石の持ち上げ」・・・「石を軽く感じた」ら病気が軽くてすみ、「重く感じた」らお金が貯まる・・・どちらを感じたかな？・・・など体感して、しばし七宝滝寺で過ごす。

七宝滝寺を後にして、石の階段を登り車道へ出る。間もなく分岐になり、登山道を入れて沢沿いの道に行く。小さい滝が幾つかあった。この山には、大小合わせて48滝もあるそうだ。しばらくするとガスが出てきた。山全体が白いガスに覆われ、信仰の山の幻想的な世界になった。道標が各所に設置されていて、迷う事もなく高城山に着く。頂上は小さい丘のように丸く、何も無い。

行者の滝から一時間ほどで、五本松、ハイランドパークに着く。少し薄日が差し、風もなく温かい中での昼食。のち不動谷コースを通り下山。

(記：野路)



山行報告

自主山行

大峰の山 《大普賢岳》(1779.9m)～《七曜岳》(1584m)

【日 程】11月22日(日) 曇

【参加者】L 的場・高橋・今井・亀井・野路 (計5名)

【コース】和佐又山ヒュッテ(9:00)～笹の窟(10:10)～石ノ鼻(10:32)～大普賢岳(11:30/12:10)～稚子泊(13:15)～七曜岳(13:59)～水簾の滝(15:05)～和佐又山ヒュッテ(17:00)

今回は悪天のため棧敷ヶ岳が流れたので、その代わりにとっては何ですが、自主山行を出させてもらった。行く途中、想定外のことがあって、大迫ダム横で道路工事のため迂回させられ、途中から道が細いので交互通行で20分余り立ち往生した。しかし、和佐又にはほぼ予定の時間には到着いたしました。

曇天のなか出発。今日は 10～30 パーセントぐらいの降水確率なので雨の心配はまずないが、快晴は望めないだろうと思いながら登り始める。和佐又山への分岐、シタンの窟、朝日窟、笹の窟と進んでいく。石ノ鼻からはガスで何も見えない。小普賢を過ぎたあたりで、兵庫県からの団体さんとすれ違う。こんな早い時間に下ってくるということはかなり早い時間に出発しているのだろう。頂上に到着すると山の北側よりも南側のほうがガスが多い。しかし、日ごろの行いがよいのか、食事中には切れてくれて、遠く南のほうに果無山脈が望めた。記念撮影をして国見岳、七曜岳に向かう。

初めは笹のある歩きやすい道であったが、だんだんとアップダウンの岩の多い歩きにくい道になってくる。国見岳の横を過ぎ、稚小泊というテン場にちょうどいいところに出た。I 氏から大峰奥駆でここをテン場で使う予定だったらしい。七曜岳は岩の頂上で眺めも少々よい場所でした。

弥山と和佐又との分岐まで下ると、和佐又山ヒュッテまであと 3 時間はかかるようなので、ここからはピッチを上げて下る。下りの苦手な人にはこの「激下り」はこたえる。落ち葉が登山道を隠しているため、登山道がわかりにくく、目印を探し



ながら下っていく。下りきったところにナメ滝が出てくる。これが水簾の滝か。

ここからの登り返しの鎖場などが、疲労した足はますますこたえました。

そして和佐又に着く頃には少し暗くなりかけていましたが、なんとか無事全員けがもなく到着できました。 (記：的場)

運営委員会だより

[日 時] 2015 年 10 月 28 日 (水) 18:15～19:30 事務所

[出席者] 島崎・辻・藤本・的場・橋本

議 題 例会山行事故の件について

- ★ 10 月 4 日 「善防山～笠松山」にて足の痙攣の為、歩行困難となり地元警察に救助要請。
- ★ 10 月 11 日 「百里ヶ岳」にて転倒による胸椎圧迫骨折。

① 今年度に入り事故が多発している。

- ・ 加齢による体力低下が事故の大きな要因となっていると考えられる。各自が体調管理し技術面はもとより、体力を維持しかつ筋力アップが

- 必要とされる。(冊子山筋ゴーゴ体操の活用、歩荷訓練などが有効)
 ・山行リーダーの責任のあり方又、今後の山行計画も見直し考えていく。

② 事故報告書の作成

日本勤労者山岳連盟には「事故一報」の報告書は提出しているが、会としての書類が残っていないので、今後事故発生時の詳細な記録、当事者の事故分析及び対策、リーダーの意見を明確にした報告書を作成し、文章化する。

事故情報は会員が共有し事故防止に役立てる。

日本勤労者山岳連盟「事故一報」、事故報告書は山行のリーダーが作成する。

(記：橋本)

室内例会だより

【日 時】2015年10月28日(金) 19:30~21:05 事務所

【出席者】藤井、田中悦、島崎、田中初、村田、林、辻、藤本、杉村、杉川、高橋、玉越、的場、坂口、亀高、亀井、船江、野路、竹川、中、橋本

1. 山行案内

- | | |
|-------------------------------|------|
| 11月8日(日) 例会山行1 京都北山《棧敷ヶ岳》 | L 的場 |
| 11月11日(水) 鈴鹿の山 《藤原岳》 | L 島崎 |
| 10月15日(日) 公開山行 紀泉の山《犬鳴山》(高城山) | L 辻 |

2. 山行報告

- | | |
|---|----------------|
| 9月17日(木)~20日(日) 自主山行 信越の山 <火打山・妙高山> | L 藤井
4名 |
| 9月18日(土)~22日(火) 自主山行 北アルプス<槍ヶ岳~穂高連峰縦走> | 杉川 |
| 9月20日(日)~21日(月) 自主山行 <鳥取大山> | L 島崎
3名 |
| 9月26日(土)~27日(日) 例会山行1 (テント泊・初級教育山行)
北陸の山：白山(御前峰) | L 藤本
12名 |
| 10月4日(日) 例会山行2 播磨の山<善防山~笠松山> | L 田中初
15名 |
| 10月9日(土)~11日(日) 自主山行 北八ヶ岳(北横岳) | L 藤本
5名他会1名 |
| 10月11日(日) 例会山行1 近江・若狭の山(百里ヶ岳) | L 勝尾
9名 |
| 10月16日(金) 自主山行 台高の山(迷岳) | L 藤井
4名 |
| 10月18日(日) 例会山行 鈴鹿の山(釈迦ヶ岳~猫岳) | L 橋本 |

3. 例会山行中の（10月4日、11日）事故2件の報告・事故報告書について

❖10月28日の「運営委員会だより」に詳しく書いています。

皆様必ずご確認ください。

4. テント購入費用について

時間を掛け検討した結果、会の装備品とし購入する。

購入費用不足分は、遭難対策基金より借り入れる。

早期返金に努める。（懇親会の補助金今後取りやめる。）

5. 例会山行の変更

11月22日（日）→11月29日（日）に変更。行先は未定 L藤本

(注)西大和つうしん 11月号会のカレンダーの12月欄に20日（日）室内例会・忘年会と記載されていますが23日（水）祭日の誤りです。（7月29日室内例会にて変更）間違いのない様お願いいたします。

★10月4日山行のアクシデントについて当事者の村田さんより、詳しく報告されました。現在は体調戻られています。本当に良かったです。

（記：橋本）

西大和つうしん

第402号（2015年12月号）

2015年11月25日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 的場喜義

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>